

産業利用で注目されている光源をわかりやすく解説します

平成29年度 第1回 **全2回**

光を利用した ものづくりに関するセミナー

参加費
無料

第1回目は、最近発展が目覚ましいレーザー加工用光源についてのセミナーです。
例えば、従来の装置ではメートル級の卓上サイズでしか実現できなかったレーザー加工用光源が、手のひらより小さなサイズで実現しています。
これによりポータブル稼働可能なレーザー応用製品が開発されております。
また、従来技術では実現が難しかった特殊な波長をもつ高強度レーザー光源が開発され、その特性を生かしたレーザー加工の産業応用技術開発が進んでおります。
新しい光源を知り、5年後、10年後に向けた貴社の事業開発に取り入れてはいかがでしょうか。

1 「マイクロチップレーザーの特徴と応用」

分子科学研究所 准教授 平等 拓範 氏

マイクロチップレーザーは、一般的な半導体レーザーと比較して、縦横単一モード発振が容易で、小型でありながらサブナノ秒からピコ秒領域の発振が望めた。さらに最近の研究により尖頭値がメガワットに至る高強度短パルスレーザー光の出力が望めるようになるなど産業化に向けたレーザー光源である。本講演では、マイクロチップレーザーの現状とともに、このレーザーを用いた加工・計測さらにはエネルギーやバイオ・医療に関する応用開発状況に関して紹介する。



2 「ファイバ結合型青色レーザ (BLUEIMPACT) の特徴とその応用について」

株式会社島津製作所 デバイス部 諏訪 雅也 氏

波長400nm~450nmを持つ青色半導体レーザは、高出力化による産業応用発展が著しい近赤外光レーザーと比較して、銅や金などの難加工材に対して光の吸収率が高いため、効率よく光を吸収させることができる。したがって、金属の半田レス接合など様々な加工用光源として応用可能である。本講演では、弊社にて開発したファイバ結合型高輝度青色ダイレクトダイオードレーザBLUE IMPACTの特徴とともに、このレーザを用いた応用についても解説する。



平成29年 **8月4日** 金 14:00~17:15

会場 サーラシティ浜松 3F スクエア
〒430-0926 静岡県浜松市中区砂山町155-1 ※JR浜松駅南口より徒歩5分

受講対象者 主に静岡県内のものづくり企業に所属される方 定員 60名程度

申し込み方法 Web、E-mailにてお申し込みください

[Web] <http://www.gpi.ac.jp/chukaku/> [E-mail] info.chukaku@gpi.ac.jp

お問い合わせ先 光産業創成大学院大学 レーザものづくり講座事務局 楠本・加藤

☎053-484-2170 ☎053-487-3012 [E-mail] info.chukaku@gpi.ac.jp



主催 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 フotonバレーセンター、光産業創成大学院大学

共催 静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター